

あなたと町を結ぶ情報紙

広報 しんち

10

1999. No.340



年の数だけ輝いて

(9月15日新地町敬老会・4ページに関連記事)

生涯スポーツの拠点「オープン

町総合体育館を楽しもう

町では、ゆとりあるライフスタイルの創造を目指し「町総合公園整備事業」に取り組んでいますが、その中心となる「町総合体育館」がこのほど完成し、9月19日から一般利用を開始しました。

体育館には、アリーナやトレーニングルームなどスポーツ施設はもちろんのこと、会議室やステージ、音響機器も設置されており、スポーツ競技だけでなく、文化活動など様々な催しに対応できますので、積極的にご利用下さい。

スポーツ、文化活動の拠点

体育館は、町民すべてが健康で心豊かな生活が送れるよう、

スポーツや文化活動を行つてい

ただく施設です。

アリーナは、1428平方メートル（42メートル×34メートル）の広さで、バレーボールなら3面、バドミントンなら6面がとれます。天井までの高さも約17メートルあり、

公式のスポーツ競技にも対応で

きます。また、卓球台やバスク

ットボールなどの器具も備わ

り、様々な競技を楽しんでいた

だけます。またトレーニング室には、エアロバイクなど7台のマシーンを設置。ストレッチについてのビデオや血圧測定器などもあり、個々の体力に応じた運動を行うことができます。

さらに、約98平方メートルのステージ、

800脚のパイプイス、228席の2階観覧席、放送室なども設置され、

様々な文化活動に利用でき、約1,500人を収容してのイベントも可能です。

すべての利用者に優しい設計

子供連れの方も安心して時間

を過ごせるよう、子供たちの遊

び場となる幼稚室も設置。

障害者やお年寄りにも気軽に

利用いただくため、障害者用の

トイレ、更衣室、シャワールーム、

スロープなども備えています。

総合公園整備を進め、

町民のふれあいの場に

町では今後も、平成15年度の

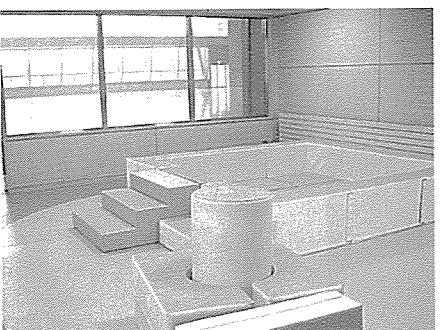
完成を目指し、「町総合公園整備

事業」を進め、400名のトラッ

クの多目的運動場、野球場、子

施設概要

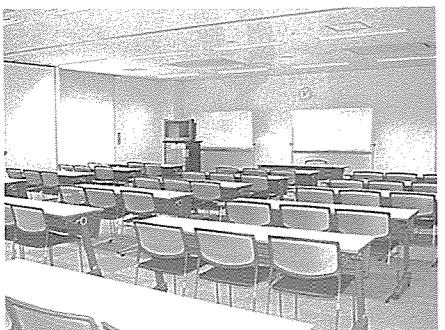
- 所在地 新地町小川字川向9-1
- 建築面積 約 3,808m²
- 延床面積 約 3,551m²
- 1階・約 3,021m²
- 2階・約 530m²
- 構造 鉄筋コンクリート・一部鉄骨2階建て



▲幼稚室



▲観覧席



▲会議室



▲トレーニング室



▲更衣室・シャワー室



▲アリーナ

利用の案内

◆開館時間

午前9時から午後9時

◆休館日

①毎週月曜日、その日が祝日となる場合にはその翌日

②年末年始（12月27日から1月5日まで）

◆使用申し込み

①専用使用

使用許可申請書により体育館受付に申し込みください。

②個人使用

体育館受付から個人使用券をお買い求めください。

③問い合わせ

町総合体育館 ☎ 2200
FAX 2201

★アリーナ利用料金

- アリーナ専用使用料（1/2面）
1時間につき500円
- アリーナ個人使用料（1/4面）
9時～17時 1時間につき100円
17時～21時 1時間につき150円
- アリーナ照明設備使用料（1/2面）
1時間につき500円（1/2点灯）
- ※1・この料金は、アマチュアスポーツで、入場料を徴収しない場合の料金です。
- ※2・小中学生が使用する場合には、1/2の料金になります。
- ※3・この料金は、1/2面使用の場合の料金です。全面使用の場合には、この2倍、1/4面使用の場合にはこの半額になります。

★設備使用料金

- 会議室 1時間につき420円
- トレーニング室 1時間につき100円
- 温水シャワー 1回 100円

供の森、ファミリー広場、こもれび広場、駐車場などを整備し、自然と人とのふれあいを大切にした緑豊かなやすらぎの空間を提供する予定です。

今、生活水準の向上による余暇の増加や、高齢社会の到来に

よる健康への関心の高まりなどに伴い、スポーツやレクリエーションを楽しむ人々が増えています。総合体育館は、スポーツやレクリエーション、文化活動など様々な催しに対応いたしま



▲9月25日には、卓球教室が行われた



▲9月19日、NTT Tohoku Vollyball Teamを招いての講習会等が行われた

新地町敬老会

長寿の秘訣は笑いです

65歳以上の方2,102人を招待

長寿杯、賀寿を贈り祝つ

平成11年度新地町敬老会が9月15日敬老の日に開かれ、約1,000人が参加しました。今年から会場を町総合体育館に移し、65歳以上の方々2,102人を招待。最高齢者は、女性が館岡ナミエさん（中里）で100歳、男性が竹澤幸藏さん（大戸浜）で96歳でした。



▲金婚夫婦記念品を受け取る
佐藤巳代治さん、エイさん夫妻



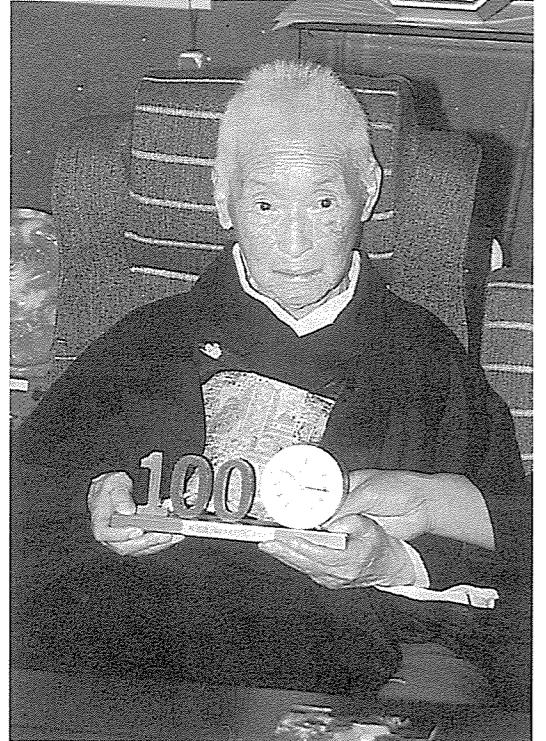
▲約1,000人が訪れ、受付は長蛇の列

75歳以上の方に敬老祝い金を贈る

式では、荒町長から「皆さん長寿は、町の願いです。これからもお元気で、長年培った経験や知識を生かし、町づくりにご指導願います」とあいさつ。続いて、90歳になられた22人を代表して森市左衛門さん（杉目）、88歳になられた22人を代表して小泉藤雄さん（新地町）に長寿杯が、80歳を迎えた73人を代表して菅野健太郎さん（今泉）に賀寿が、夫婦とともに長寿杯が、80歳を迎えた39組の夫婦を代表して佐藤巳代治さん、エイさん夫妻（今泉）らに金婚夫婦記念品が贈られ、被表彰者を代表して菅野健太郎さんが謝辞を述べました。最後に、社会福祉協議会副会長の林秀一さんの音頭で、出席者全員で万歳三唱を行い、長寿を祝いました。式終了後は、婦人会や老人クラブによる唄や踊りのアトラクションが披露され、盛んな拍手を送っていました。



▲新地婦人会によるアトラクション



上寿

おめでとうございます 館岡 ナミエさん 100歳

町内最高齢者の館岡ナミエさん（中里）が、9月16日で満100歳の誕生日を迎え、新地町から初の百歳長寿者が誕生しました。

9月16日の誕生日には、荒町長、加藤町議会議長、船尾相双社会福祉事務所長、平間町老人クラブ連合会長らがお祝いに訪れ、町からは特別敬老祝金50万円と表彰状が、県からは県知事賀寿と銀杯、国からは内閣総理大臣祝状と銀杯が贈られました。さらに、中里地区では花火を打ち上げるなど、館岡さんの上寿を盛大に祝いました。

長生きの秘訣は「規則正しく食事時間を持ち、睡眠を充分にとること」だそうで、豆腐と納豆、ヒラメの刺し身が好物で、夜8時には床に就き、やれる範囲の身の回りのことは自分で行なうなど、とてもお元気です。館岡さんは「100歳を迎え、とても感激している。これからも長生きして、地域の皆さんに愛されるおばあちゃんでいたい」と話していました。



▲9月16日には多くの来賓がお祝いに訪れた



▲小学生6人が作文を朗読



▲寺島理事長から花束を受け取る
最年長の目黒麻野さん

館岡さんは、明治32年に伊具郡金山町（現在の丸森町）に生まれ、現在は長男夫婦の繁さん智子さん、孫の宏光さんの4人が暮らしています。29歳で結婚し、現在も5人の子どもと、11人の孫、4人のひ孫が健在で、遊びに訪れるのを何よりの楽しみにしています。

長生きの秘訣は「規則正しく食事時間を持ち、睡眠を充分にとること」だそうで、豆腐と納豆、ヒラメの刺し身が好物で、夜8時には床に就き、やれる範囲の身の回りのことは自分で行なうなど、とてもお元気です。館岡さんは「100歳を迎え、とても感激している。これからも長生きして、地域の皆さんに愛されるおばあちゃんでいたい」と話していました。

特養「新地ホーム」敬老会 小学生が作文朗讀で 長寿を祝う

特養新地ホームの敬老会が9月10日、同ホームで開かれ、入所者、家族、職員ら約100人が出席し、長寿を祝いました。最高齢者は、男性が田中實さんで93歳、女性が目黒麻野さんで97歳でした。

式では、しんち福祉会理事長の寺島潤一さんがあいさつ、荒町長が、90歳と88歳になられた入所者に長寿杯を、80歳を迎えた入所者に賀寿を贈りお祝いの言葉を述べ、入所者を代表して加藤イノさんが謝辞を述べました。



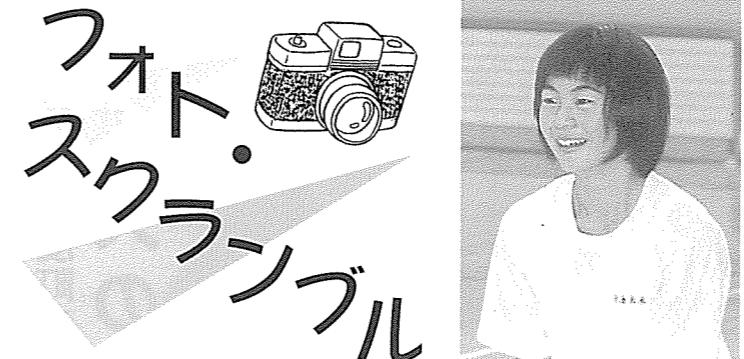
▲荒町長からは長寿杯が贈られた

式終了後は、3小学校の児童10人による作文の朗讀発表も行われ、「いつまでもお元気で長生きしてください」と、メッセージを送っていました。

また当日会場では、75歳以上の方703人に5千円、85歳以上の方231人に1万5千円（県からの祝い金5千円含む）の敬老祝い金が送られました。



The Photo Scramble



防犯と交通安全を呼びかける

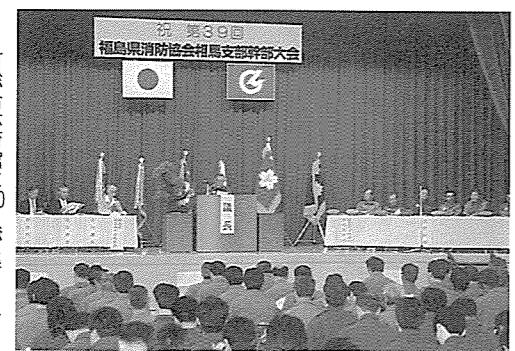
秋の全国交通安全運動が9月21日～30日の期間中、全国一斉に行われましたが、防犯協会福田支部と交通安全協会福田支部では9月20日、「防犯・交通安全パレード」を行いました。パレードには、福田小児童、PTA、防犯協会会員、交通安全会員、交通指導員などが参加し、福田小学校から明地、鉄炮町地区を練り歩き、防犯と交通安全を呼びかけました。



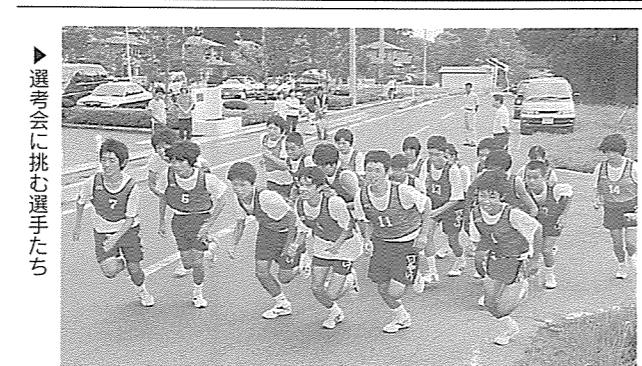
消防人の決意新たに

「第39回県消防協会相馬支部幹部大会」が9月5日、町総合体育館で、広域消防職員、消防団員など関係者約500人が出席して行われました。

大会では、「急激な都市化や高齢化に伴い、複雑化している近年の災害現状を認識し、時代の変化に適応した、活力ある消防防災体制を確立していくこと」を盛り込んだ大会宣言を読み上げ、消防人としての決意を新たにしていました。



防犯と交通安全を呼びかける



頑張れ駅伝ランナー

ふるさとのランナーがたすきをつないでみちのく路を駆け抜ける「第11回ふくしま駅伝」が11月21日に白河総合運動公園をスタート、福島県庁をゴールに行われます。

町では9月11日、選手候補を決める「第一回新地町選手選考会」を行い、中高生から社会人まで約30人が参加し、男子約5キロ、女子約3キロのコースを走り、健脚を競いました。

次回選考会は10月16日です。

参加希望の方は新地公民館（☎ ②2085）まで。



▶ 盛んな歓援を受け、参加者最年長の佐藤真雄さん（今泉・94歳）が挨拶する

輪投げで健康作り

お年寄りの交流と健康作りを目指し、町老人クラブ連合会の主催による「輪投げ大会」が9月22日、町総合体育館で行われました。

成績は次のとおりです。

- ▽団体の部
 - 優勝駒西A（石田トキ子さん、八巻エイ子さん、渡部チエさん、豊田ハツさん、鈴木マルさん）
 - 2位杉目A／3位今泉B
- ▽個人の部
 - 優勝・林孝正さん（真弓A）／2位本内信彰さん（岡C）／3位・佐藤福忠さん（駒北A）

手作りの贈り物

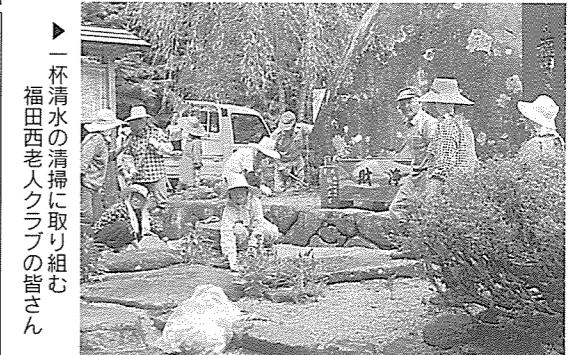
新地高校家庭クラブ（加藤寿美江部長・下真弓）では9月14日、町内の一人暮らしのお年寄り95人へ、手作りの保険証入れと「元気にお過ごしください」と書いた手紙を贈り、敬老の日のお祝いをしました。

保険証入れは、同クラブ員が夏休みや放課後を利用して作製したもので、すずらんや花籠の押し絵の入った可愛らしいものに仕上がっています。同クラブではこれまで、暑中見舞いや年賀状などを送り、お年寄りからもたいへん喜ばれています。



▶ 手づくり保険証入れを贈った新地高家庭クラブの皆さん

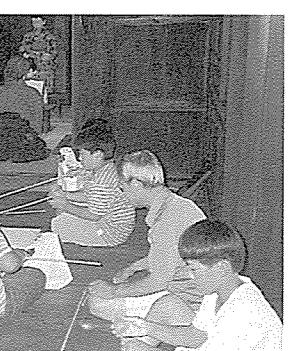
▶ 一杯清水の清掃に取り組む福田西老人クラブの皆さん



県内の老人クラブ連合会が一齊に参加しての「全県一齊社会奉仕活動」が9月20日に行われ、町内でも全20単位クラブ約600人が参加して、各地区的道路や公会堂、公園、花壇などの清掃奉仕作業を行いました。

福田西老人クラブ（沢口）では、約40人が参加して約1時間にわたり一杯清水の清掃を行い、周辺に投げ捨てられた空き缶や空き瓶の收拾、草刈りなどを进行了。

県内の老人クラブ連合会が一齊に参加しての「全県一齊社会奉仕活動」が9月20日に行われ、町内でも全20単位クラブ約600人が参加して、各地区的道路や公会堂、公園、花壇などの清掃奉仕作業を行いました。



▶ 手作りの楽器つくりに挑戦



観海堂を利用した子供たちの健全育成を行おうと、中島地区青少年健全育成会と新地小中島方部PTAではこのほど、「中島親子ふれあい教室」を行いました。

教室は、観海堂を会場に親子約50人が参加して、小野トメヨさん（中島）による郷土むかしばなし、荒利美さん（中里）を講師に招いての手作りの楽器つくりと演奏会、地区内の空き缶拾いのボランティアなどを行い、交流を深めました。

観海堂で、親子の集い

東北通産局長賞受賞

東北6県の商工会連合会の主催による「99東北むらおこし物産展」が9月17日から21日の5日間、仙台市の藤崎百貨店で開かれ、新地町からは純米吟醸酒「鹿狼山」出品コンクール部門で、東北通産局長賞に輝きました。

今回受賞を受けた純米吟醸酒「鹿狼山」は、昨年秋に仕込みを行ったもので、春には県新酒鑑評会で金賞を受賞するなど、好評を博しています。

町内の酒小売店で販売されていますので、ぜひご賞味を。



▶ 9月22日、荒町長に受賞を報告

散歩道



『鈴宇峰の清流』

鹿狼山と五社壇の間、狼沢地区と原畠地区の西に位置する「鈴宇峰」。明治・大正時代以前は、丸森町とを結ぶ峠道として行き交う人たちもいましたが、車が通行できないこともあります。(平成14年度開通を目指し、現在林道の整備を進めています)、現在は訪れる人も少なく、ひつそりとした、隠れた名所となっています。

峰には、ケヤキやモミジ、栗、グミなどの天然林をはじめ、水源かん養のための保安林として、多くの木々が生育。湧水地も多く、湧きだした清水は沢となり、きれいな清流をつくっています。

鈴宇峰を水源とした水は、大清水溜池、菅の沢溜池、沼の沢溜池などに分配され農業用水として利用されるなど、地区の水田を潤し、生活を支えています。

秋になり、大地の恵みに応えるように峰の木々たちもほんのりと色づき、本格的な紅葉の時期を迎えようとしています。秋晴れの空の下、皆さんも、峰の自然を散策してみてはいかがですか。

(写真は原畠橋上流にて、撮影したものです)

人の動き

- 人口／9,063人（-11人）
男／4,424人（-4人）
女／4,639人（-7人）
- 世帯数／2,409世帯（+2世帯）
9月1日現在（）は前月比

今月の納税

- 固定資産税
- 国民健康保険税
- 国民年金

第3期分
第4期分
10月分

■秋は何をするにもよい季節です。読書、スポーツ、旅行などあれこれ思うところはあります、皆さんいかがですか。■町内でもこの季節いろいろなイベントが行われます。学校では文化祭、体育祭とイベントが目白押しです。■新地高校では10月15日から17日までの3日間、「はまなす祭」が開催されます。コンサート、仮装行列等、多彩な催しがあるようですので、行ってみたいと思います。皆さんもぜひ足を運んで「地元の高校」を盛り上げてください。(晴)

★先月は、新地町初の100歳長寿を迎えた館岡ナミエさん（中里）、94歳で元気に輪投げ大会に参加した佐藤貞雄さん（今泉）、町敬老会に出席された1,000人の方をはじめ、多くの元気な皆さんを取材することができます。取材をして気づいたのですが、みなさん笑顔を絶やさず、つねによく笑っています。長寿の秘訣はこの笑顔なんだと感じました。

(佐)

こちら編集室



再生紙使用

編発行

〒979-2792

福島県相馬郡新地町合字小屋字秋崎

新地町企画振興課

FAX(0244)62-2111

40